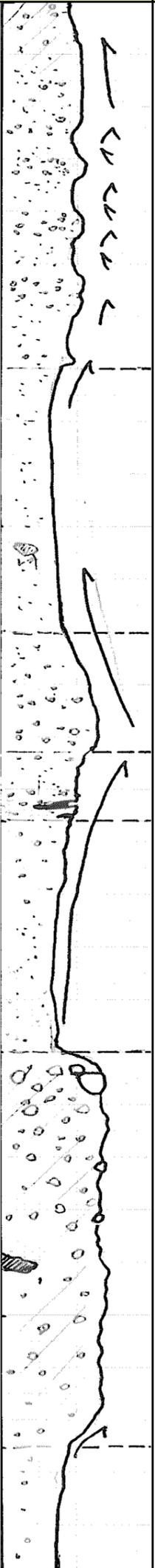


深度 (m)	柱状図	地層区分	層相	色調	記事	採取試料(化石、炭化物等)
0.00 1.00		埋土	細礫混りシルト質砂	褐灰～褐	府内域(大分城)。 ”帯曲輪”築堤土。	
1.85 2.00		最上部泥層	シルト質粘土(腐植質)	濃褐	腐植質褐色粘土層。 上位境界は乱されており、やや不明瞭。 下位境界はシャープ。	
2.16 2.18			中～粗粒砂		上位境界シャープ。 下位境界は明瞭だが、凹凸面を形成。	
2.29 2.32			シルト質粘土(腐植質)		粘土層中にレンズ状に挟まれる。	
2.32 3.00		上部砂礫層	礫混り中～粗粒砂	灰	中～粗粒砂 細礫を含む。  2.70m付近 細礫が多い。	

深度 (m)	柱状図	地層区分	層相	色調	記事	採取試料(化石、炭化物等)
3.70		上部砂礫層		灰	3.00～3.15m間はマトリクスに粘土を含み、淘汰が悪い。  3.30m付近は細礫が多い。  3.40～3.45m付近は細礫が多い。  3.52～3.60m付近は細礫が多い。  3.70m付近は細礫が多い。	
4.00			細粒砂		上下境界とも不明瞭で漸移的。 全体に淘汰は良い。  4.05mに 1.5cmの垂円礫あり。	
4.20			細～中礫		安山岩礫主体。	
4.43			粗粒砂～細礫		下位境界漸移的。	
4.56			中～細粒砂		4.52～4.54mに傾斜15°以上で泥の偽礫を含む。	
5.00			中礫		下位境界はシャープな境界面が見られるが、粒度変化は非常に急激(?) 垂円礫(2～5mmの径)主体。安山岩礫主体。 全体にやや淘汰が悪い。  5.40mに泥の偽礫(径4cm)を含む(泥炭質)。	
5.75			細～中粒砂		下位境界は漸移的。	
6.00						

備考：

深度 (m)	柱状図	地層区分	層相	色調	記事	採取試料(化石、炭化物等)
6.63		上部砂礫層	細～中粒砂	灰	全体に淘汰が悪く上下層に比べて"異質"な層。垂円礫主体。安山岩礫主体。 下位境界面はやや凹凸あり。	
6.75			中～大礫			
6.85			細粒砂	黒褐		
6.88			泥炭 細粒砂	暗灰		
6.90		泥炭層 (上部砂礫層)	泥炭	黒褐	7.35～7.48m間にラミナ発達。極細粒砂を挟む。 下位境界シャープ。	
7.00			細礫	灰		
7.09				黒褐		
7.35						
7.48		上部砂礫層	中礫	灰	7.84～7.85m間に泥炭を挟む。 全体に淘汰良い。 下位境界シャープ。	
7.84						
7.85			細～中粒砂			
8.00						
8.40			極細粒砂	灰	一部細礫を含む。 8.60～8.95mに小断層あり。 下位境界は 80°以上の断層によって形成。 径0.5cm前後のパミス(軽石)を多く含む。	
8.60						
8.78			細～中礫	暗灰		
8.95				灰白		
9.00						

備考：

深度 (m)	柱状図	地層区分	層相	色調	記事	採取試料(化石、炭化物等)
9.25			細～中礫		下位境界は漸移的。	
9.45		上部砂層	細～中粒砂	暗灰	上位層へ漸移し、上方粗粒化する。 境界は漸移的。	
9.75			細粒砂		傾斜5°前後の弱いラミナが全体に見られる。 全体に上方へ粗粒化している。 淘汰は良い。 深度9.50～10.00mに小断層あり。	
9.85				極細粒砂	黒灰	小断層により、上位境界面が5cmズレている。
10.00						

備考：